



## あいさつ

部長 勝木 茂

毎朝、正門付近から丸玄関、そして職員室入口までの間に、十数人の初等部生とあいさつを交わします。笑顔で「おはようございます」、わたしと目が合って「部長先生おはようございます」、振り向いた時に、わたしの姿に気付いて「あっ、おはようございます」、初等部グラウンドに早く遊びに行きたい気持ちが勝って「おはよーございます」もちろんわたしの方からの「おはようございます」にこたえて「おはようございます」という初等部生、実に様々です。目線、顔の表情、声のトーン、わずか1・2秒の間で、「今日は調子よさそうだな」「いつもと変わらず元気だな」「どうしたのかな」「心配事があるのかな」いろいろな心の内が何となく分かる気がします。

わたしは、毎朝、笑顔であいさつをしてもらうと元気が出ます。気持ちが落ち込んでいる日も、初等部生の笑顔の「おはようございます」で前向きな気持ちに切り替えることが出来ることも多くあります。ずい分と長い間、教育の仕事をして来ましたが、朝、子どもたちの笑顔のあいさつで、これまで何度も勇気付けられ、元気付けられて来たことでしょうか、改めてあいさつは凄いパワーをもっているなど感じます。

でも、中にはあいさつが返って来ない子もいます。様々な理由があるのかも分かりませんが、あいさつは先ず、することが大切です。1・2年生の頃はよくあいさつが出来ていたのに、5・6年生になるとあいさつをしなくなるという子もいます。あいさつは毎日、続けることが大切で、習慣となるのがいちばん良いと思います。

学校はよく社会の縮図と言われます。社会は言うまでもなく人と人との関係で成り立っています。ですから人とのコミュニケーションは不可欠です。これは、家族でも学校でも同じです。人とのコミュニケーションのはじめの一步はあいさつだと思います。おそらくあいさつをしないで社会生活をするのは大変なことだと思います。世界中、言葉は違ってもあいさつがあるのはそういう理由かも知れません。

「おはようございます」だけでも、「グッドモーニング：Good morning」（英語）、「ボンジュール：Bonjour」（フランス語）、「アンニョンハセヨ：……」（韓国語）、「ブエノスディアーアス：Buenos Dias！」（スペイン語）……、世界にはたくさんのあいさつがあります。



もちろんあいさつは「おはようございます」だけではありません。「こんにちは」「こんばんは」「おやすみなさい」「いってきます」「いただきます」「おかえりなさい」「いただきます」「ごちそうさまでした」「はじめまして」「さようなら」「しつれいします」「おねがいします」「ありがとうございます」……. 実にたくさんのあいさつがあります。一日の中だけでもたくさんのあいさつをしている気がします。

わたしは、あいさつをする時に心がけていることがいくつかあります（わたしだけではなく多くの人がやっていることですが……）。先ずは、「笑顔で明るく」、次に「言葉をはっきりと」、そして「相手の顔（目）を見ながら」です。あいさつはコミュニケーションですから、こちらの心の内が伝わる必要があります。そのためには「相手の顔を見ながら笑顔ではっきりと」あいさつすることが大切になります。

気持ちの良いあいさつであふれる初等部になればと願っています。